

工事施工の自然環境の対応について

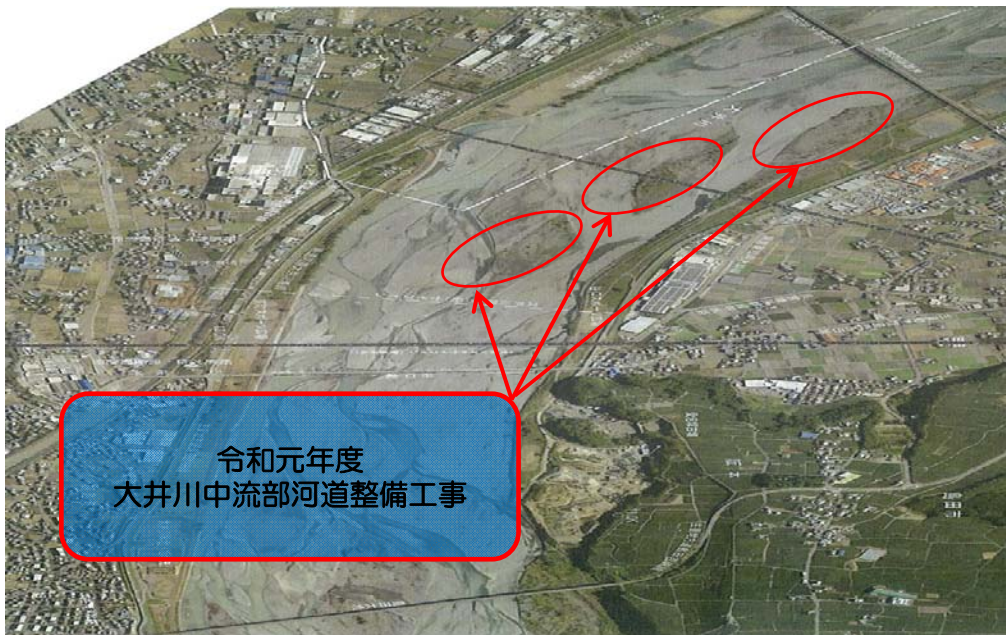
地区名 島田地区  
 会社名 株式会社 グロージオ  
 主任技術者 大池 浩之  
 技術者番号 139752

- 【工事名】 令和元年度大井川中流部河道整備工事  
 【発注者】 国土交通省中部地方整備局静岡河川事務所  
 【工事場所】 島田市向谷地先～大代金谷地先  
 【工事内容】

河川維持

河川土工		1式
掘削工 (ICT)		1式
掘削工 (発生土)	土砂オープンカット押土無 障害無5000m3未満	3500m3
土砂運搬	土砂(岩魂・玉石交じり含む)	3480m3
整地	残土受け入れ地での処理	3500m3
堤防養生工		1式
伐木・除根工		1式
伐木・伐竹(複合)		29.500m2
(伐木伐竹運搬)		29.500m2
処分費	枯葉・幹	2.470m3
処分費	根株	890m3
塵芥処理費		1式
塵芥堆積収集	(機械処理)	130m3
処分費		130m3
仮設工		1式
工事用道路		1式
工事用道路盛土	流用土(設置・撤去)	670m3
工事用搬路盛土	流用土(設置・撤去)	600m3
瀬替え工		1式
瀬替え工	流用土(設置・撤去)	1.500m3
防塵対策工	散水4t	1式
交通管理工		1式
交通誘導警備業務	交通B屋	50人

【施工箇所】



## 自然環境の対応

### ①環境に配慮した施工

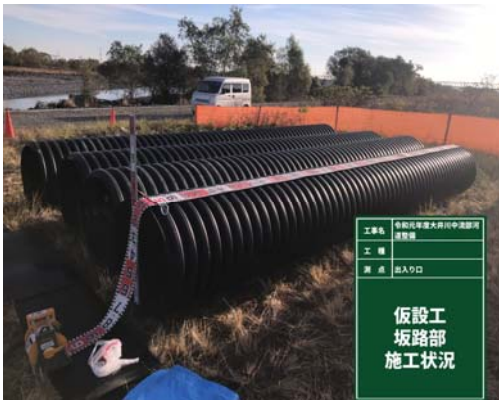
#### 内容

・本施工は瀬替えは施工せず掘削運搬する設計でしたが、工事用道路を施工するも1回目が決壊し、10月15日から11月30日までアユの産卵場所ということで施工を一時中止しました。変更で谷口橋の下流より瀬替えを施工し、多少の雨にも対処できるよう協議しました。



#### 結果

・谷口橋の下流に瀬替えを施工させていただき、水の流が施工場所に来ないように、Φ600のドレーン2条を使用し施工しました。これにより残留水を適正に処理することができ環境に配慮することができました。



### ②過積載防止対策(重量計)について

#### 内容

・掘削の運搬に当たり、過積載防止対策として、印字式の重量計を使用して、重量確認記録を実施しました。

#### 結果

・普通の測定では記録が残りませんが、印字され車検証の総重量と比較ができるので、毎回実施することで重量確認ができ過積載がなく運搬することができました。



### ③防塵対策(場内散水)について

#### 内容

・当現場は谷口橋の近くにグランドゴルフ場、また散歩で堤防道路を通る車が多く、ダンプトラック等の走行で舞上がる砂埃を散水車を使用して防塵対策を行いました。

## 結果

・河川工事では特に風が強いのでダンプトラック等の走行はもとより、その日の風の状況に応じて出来る限り埃がたたないよう気を配り場内散水を実施した結果、地元からの苦情もなく工事を完了しました。



## ③塵芥堆積収集における施工について

### 内容

当初施工する予定の近くに大井川上流から流れてきた流木の処分をし塵芥堆積収集として、130m3運搬処分と伐木除根を行い施工しました。

### 結果

河川の堆積物が無くなり自然環境にも良くなり、大井川漁協からは感謝の意をいただきました。



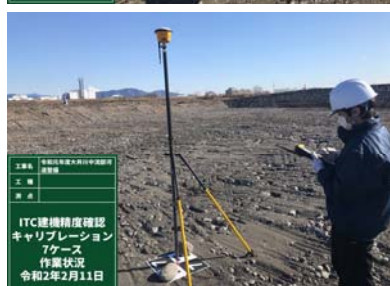
## ④掘削時のICT施工について

### 内容

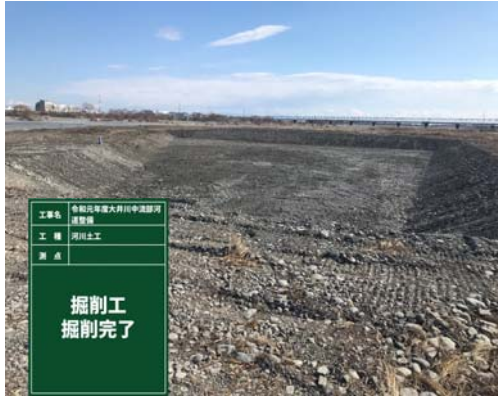
・河川土工へのICTの活用(測量、マシンコントロール掘削機)により、掘削量の出来形管理を行った。

### 結果

広範囲を測量することで手間が省け、業務の効率化につながったと思います。



## バックホウ掘削(ICT)施工 完成



- ⑤ A.工事用道路の準備工(伐採)について  
B.整地での準備工(伐採)について

### 内容

・工事用道路での土砂運搬時の10tダンプトラックの妨げになっている草を、草刈り機により伐採し視界をよくしました。又吉田市川尻地内整地部は残った草木を処分しました。

### 結果

・視界がよくなり交通に支障がなくなりました。

#### A 作業中



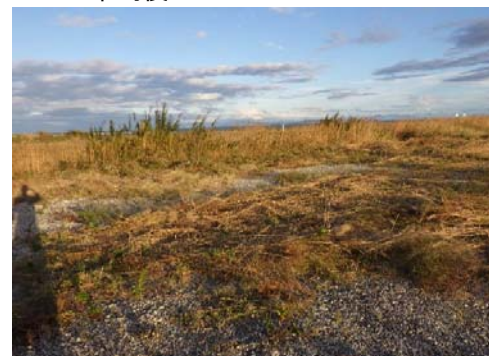
#### 草刈後



#### B 作業中



#### 草刈後



- ⑥本工事のハザードマップについて

### 内容

・今回事務所での安全教育等を行う時は交通のハザードマップで交通災害防止に努めました。又吉田町川尻地内団地付近は、特に渋滞に注意し教育しました。

### 結果

・地元からの苦情もなく施工できました。



【最後に・・・】

今回の工事は工期変更なしでの工事であった。工事は早期着手が条件で発注され、10月5日より施工しましたが、10月11日の台風10号により災害を受け、施工が出来なくなり又大井川の産卵場所と言うことで、大井川漁協と協議の結果、アユ産卵後となる12月からの施工となり厳しい工程状況であった。工程管理や作業打合せを密に行い施工を進めました。

このような状況の中で、自然環境での対応の実施を心がけ現場が完成できたことは、作業員全員の向上意識があつてのことだと思えます。

工事に対してご理解とご協力してくださり、工事が無事に完成できたことに感謝しています。

【完成】



令和2年2月25日撮影